

## APEX Data Storage Services

インフラストラクチャではなく成果に集中

### シンプルさ

- 予測、調達、移行のサイクルを排除
- ITスタッフが付加価値の高い活動に集中することができる
- アズアサービスの活用状況全体を単一のコンソールから一括管理

### 俊敏性

- 顧客が必要とする量のリソースを提供
- 容量をシームレスにスケールアップおよびスケールダウン
- 実際の使用量と予想使用量を比較して支出を調整

### 管理性

- データローカライゼーション要件、規制条件、監査要件に対応
- ハイブリッドクラウドまたはクラウドの利用戦略を可能にする
- 組織にとってのサービスプロバイダーとなる

### 現代の複雑なビジネスとIT環境を管理する

IT組織の多くは、オーバープロビジョニングやアンダープロビジョニング、資本予算の制約といった課題に直面しています。長期にわたる調達サイクルと複雑な移行に対処する必要もあり、これらすべてが積み重なることで、ストレージ要件の管理が非常に難しくなっています。ビジネスや経済環境全体が予測困難な状況にあるなか、IT部門が俊敏性を向上させることの重要性がこれまで以上に高まっています。ワークロードの要件の予測がうまくいっていない状態でインフラストラクチャへの先行投資を行うのはリスクがあります。また、ITスタッフの限られたリソースやスキルセットにも対処しなければならず、さらにクラウドイニシアチブによって一層複雑になっています。このような理由から、ITリーダーはよりシンプルなエクスペリエンスを探し求めています。

### アズアサービスへの移行

アズアサービス型モデルは、シンプル化を実現し、コストを削減し、組織の目標に合わせて調整する手段として、ますます魅力的になっています。選択肢の広さ、柔軟性、ストレージ容量を運用コスト(OpEx)として会計処理できることが、今後数年でアズアサービス採用の大幅な拡大が予測されている理由です。ストレージアズアサービスは、データストレージ環境を最適化してニーズの変化に対応し、ビジネス目標に合致する成果を提供する必要があるすべてのIT組織にとって、検討すべきソリューションです。

### ソリューション : APEX Data Storage Services

APEX Data Storage Servicesは、OpExとして会計処理できるように設計されている<sup>1</sup>、拡張性と柔軟性に優れたストレージリソースを提供するアズアサービスポートフォリオです。

このサービスにより、複雑な調達や移行のサイクルをなくし、プランニングとプロビジョニングのコストを最大86%削減<sup>2</sup>できます。APEX Consoleという単一のインターフェイスを介して、アズアサービスエクスペリエンスを簡単に管理できます。容量のスケールアップおよびスケールダウンにより、お客様の要件とワークロードの要件に動的に対応することができます。使用した分だけ単一レートで支払う仕組みであり、超過料金は発生しません。さらに、カスタマーサクセスマネージャーがお客様の信頼できるアドバイザーとして割り当てられ、初日から主担当者として対応します。

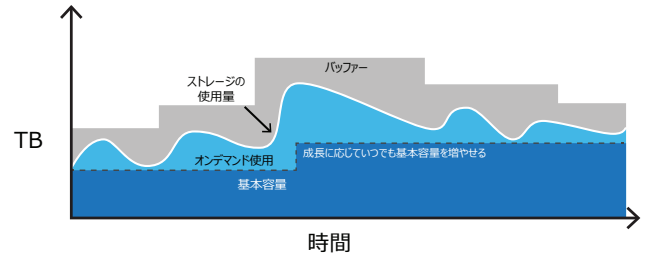
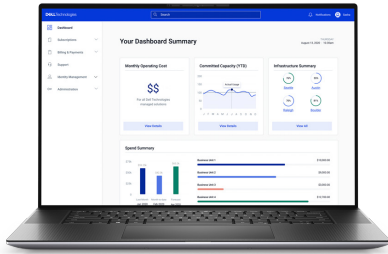
### アズアサービスリソースを、最大の価値をもたらす場所に導入

Dellが管理する安全なコロケーション施設にAPEX Data Storage Servicesを導入する<sup>3</sup>オプションにより、データセンターのプランニング活動を排除し、ハイブリッドクラウド戦略を加速させ、新しい市場に迅速に参入し、データをアプリケーションの近くに配置することができます。

Dellが管理するコロケーション施設を利用することで、APEX Data Storage Servicesインフラストラクチャから任意のクラウドへ、安全なソフトウェア定義のインターコネクション(相互接続)が可能になります。そのため、特定のベンダーに縛られることもデータ転送料金もなく、複数のパブリッククラウドプロバイダーの機能を利用できます。

「2024年までに、新たに導入されるストレージ容量の50%以上がアズアサービスまたはサブスクリプションベースでの注文となり、2020年の15%未満から大きく伸びることになるでしょう。」<sup>3</sup>

— Gartner



### シンプルさ：複雑さを解消して組織により多くの価値を提供

APEX Data Storage Servicesは、インフラストラクチャの購入、導入、維持管理のプロセスを簡素化します。次の5つの主なサービスパラメーターを選択するだけです。

- 場所：お客様のデータセンターまたはDellが管理するコロケーション施設
- データサービス：ブロックストレージまたはファイルストレージ
- パフォーマンス階層：IOPS/スループットに基づいて3つのレベルから選択
- 基本容量：最小基本容量（50TBから使用開始できるオプションもあります）
- 期間：1年または3年のいずれかを選択

Aズアサービスエクスペリエンスはすべて、シンプルで直感的に操作できるDell Technologies APEX Consoleを使用して管理されます。このコンソールでは、サービスの情報収集と注文、ワークロードの導入、お使いの環境の監視、容量使用率と請求アクティビティの確認を行うことができます。また、組織の管理者が関係者のオンボードを行い、アクセスや個々の権限を制御することも可能です。注文が完了したら、円滑な引き渡しとシームレスな導入を確保するために、コンソールを使用してサイト要件を確認することができます。サービスレベルは必要な成果が上げられるよう設計されています。デル・テクノロジーズがすべてのインフラストラクチャを所有して維持管理するため、日々の管理作業や保守作業にかかる時間を減らすことができ、IT組織はより付加価値の高いアクティビティに集中できるようになります。

### 俊敏性：変化するビジネスニーズに動的に対応することによって予測不能な状況を管理

APEX Data Storage Servicesを利用することで、予想使用量ではなく、実際の使用量に合わせて支出を調整できます。すべて単一レートで、容量使用率が基本容量を上回っても超過料金は発生しません。オーバープロビジョニングのコストを排除することで、ストレージコストを45%も削減できます<sup>2</sup>。

契約期間中はいつでも基本容量を増やすことができます。また、契約期間の長さにかかわらず、全期間の料金に対する割引を受けることができます。これにより、容量のシームレスなスケールアップやスケールダウン、ワークロード要件の変化への動的な対応が可能になり、最大129%のROIを達成できます<sup>4</sup>。また、サービスの注文または追加からわずか14日でインフラストラクチャを完全に導入できます<sup>5</sup>。

廃棄の際は、利用中止となったすべてのデータ/メモリー搭載デバイスを証明可能な方法でサンタイズし、すべてのデータを復元不能にするため、データセキュリティと規制に対するコンプライアンスを確保できます。返送されたシステムは修理を行って再販売されるか、責任を持って再利用されることで電子廃棄物を排除し、リソースの継続的かつ再生可能な使用を促進します。

### 管理性：真のハイブリッドクラウド戦略を実現する柔軟なストレージサービスでリスクを低減

デル・テクノロジーズの信頼できるエンタープライズインフラストラクチャにより、お客様はデータに対する完全な制御を維持できます。データとアプリケーションを物理的に近い位置に置くことで、ワークロードが最適化され、高度な拡張性とパフォーマンスを確実に得られるようになります。APEX Data Storage Servicesは99.9999%の可用性を実現できるように設計されており<sup>6</sup>、ハードウェアアップグレードを無停止で実行でき、計画的ダウンタイムが不要です。オンプレミスのデータストレージは、データローカライゼーション要件、規制条件、監査要件を満たすためにも役立ちます。

お客様は、ワークロードとアプリケーションの運用に対する制御を維持できます。一方、オンプレミスインフラストラクチャの管理や保守は、エンタープライズストレージのNo.1プロバイダー<sup>7</sup>であるデル・テクノロジーズが行います。その結果、クラウドのようなエクスペリエンスが実現します。分かりやすく予測可能な価格設定となっており、データ転送料金やレイテンシーの問題も発生しません。

Dell Technologies APEX Data Storage Servicesで、運用効率を最大限に高め、俊敏性を向上させ、より多くの価値を組織にもたらしましょう。



APEX Data Storage Servicesの**詳細はこちら**



デル・テクノロジーズのエキスパートに**問い合わせる**

<sup>1</sup>OpExとしての会計処理については、お客様の社内の会計レビューとポリシーに従うものとします。

<sup>2</sup>デル・テクノロジーズの委託によるForresterのNew Technology Projected Total Economic Impact調査（2021年6月）。APEX Data Storage Servicesを使用している4つの組織への聞き取り調査（結果を集約して1つのモデル組織に統合）と、その他のIT導入決定者121人からのアンケート回答に基づく3年間の推定値です。実際の結果は異なる場合があります。レポート全文はこちら。

<sup>3</sup>Dellが管理するコロケーション導入の各地域における提供状況については、[Dell.com/Access-APEX](https://Dell.com/Access-APEX)を参照してください。

<sup>4</sup>Gartner、『Market Guide for Consumption-Based Pricing for Data Center Infrastructure』Daniel Bowers他（2021年3月1日）。

<sup>5</sup>導入時間(TTV)は、注文受注から稼働開始までの日数です。与信承認、必要な関係者によるAPEX条件への同意、サイト審査（これらは発注前に完了する必要があります）、注文前計画への参加の影響を受けます。製品の提供状況、海外配送、祝日、その他の要因によって、導入時間に影響が出る場合があります。Dellが管理するコロケーション導入には適用されません。タイムトゥバリュー目標と各地域での提供状況については、[Dell.com/Access-APEX](https://Dell.com/Access-APEX)を参照してください。

<sup>6</sup>基盤となるプラットフォームの一般的な構成でのハードウェアの可用性に基づいています。実際のハードウェアの可用性は異なる場合があります。

<sup>7</sup>IDC、『Worldwide Quarterly Enterprise Storage Systems Tracker, 2021 Q4 Historical Release』(2022年3月10日)。ベンダー売上別ランキング。

**DELL** Technologies

**A P E X**